

日差しも暖かく、色とりどりのきれいな花々が目につく季節となりました。今年度も早いものであと少しになりました。子ども支援室では、今年度もたくさんの方に利用していただきました。登園・登校渋りに関する相談、子育てや発達についての相談が多くありました。今後とも保護者の方や子どもたちの困り感に寄り添い、少しでも子どもたちが健やかに成長していくためのお手伝いできればと考えています。



## 実人数（456人）の段階別内訳

令和4年度 相談延べ件数 (2月末日現在)	3,934 件
-----------------------------	---------

段 階	人数	割合
乳・幼児(0~6歳)	111人	24%
小学生	261人	57%
中学生	54人	12%
高校生以上	30人	7%
合 計	456人	—

今年度もオンラインで研修会を開催し、多くの先生方や保護者の方々に視聴していただきました。子どもたちのよりよい成長のために生かしていただけるとうれしいです。

## ○令和4年度 子ども理解講座(保護者、関係職員対象)

	テーマ	講 師	再生回数
8月1日～ 9月11日 動画配信	『子どもの「怒り」や「かんしゃく」のメカニズムと対応』	川村学園女子大学文学部心理学科教授 早稲田大学応用脳科学研究所招聘研究員 今井正司先生	462回

## ○令和4年度 子ども支援研修会(関係職員対象)

	テーマ	講 師	参加人数
6月28日 オンライン	「園や学校現場で生かせる認知行動療法」	川村学園女子大学文学部心理学科教授 今井正司先生	212名
11月18日 オンライン	「伝え方が変わると保護者との関係が変わる」	浜松発達相談支援センタールピロ所長 内山敏先生	237名

## 〈子ども理解講座「子どもの怒りや癇癢のメカニズムと対応」より〉

- 子どもの『不適切な怒り』は「適切な行動の未学習や誤学習かも」
- 癇癢の基本メカニズム⇒欲求を言語化できない・不快なことへの生理的反応・子どもなりの交渉スキル
- 癇癢や怒りが自分の思いを通す道具となってしまうように、癇癢の予防のために共同ルールを事前に話し合って作成し、冷静に対応する。
- 親子で作る共通ルールのポイント：一方的な押し付けルールではなく、話し合いで作成し、大人の気分で勝手に変更しない。罰則ではなく褒める視点で肯定形で作る。
- ☞〈詳しくは、袋井市ホームページの子ども支援室「子育てヒント Box」をご覧ください〉